

第3編 研究活動報告

・文書情報標準化WG

土工協 CALS/EC 部会
2003 年度活動報告書

1. 文書情報標準化WGの概要

(1) WGメンバー

リーダー	一條俊之	西松建設	サブリーダー	菊地正俊	五洋建設
サブリーダー	星野義弘	前田建設	委員	山本隆彦	松村組
委員	平田正之	本間組	委員	渡部一己	若築建設
委員	西村孝一	株木建設	WG委員	石田 仁	五洋建設
委員	木本 隆	日本国土開発	WG委員	有本邦彦	松村組
WG委員	西牧晋志	西松建設	WG委員	稲田澄則	若築建設

(2)活動テーマと担当会社

活動テーマ	担当会社
「工事完成図書の電子納品」の利活用ガイドライン	前田建設、西松建設、本間組、株木建設、日本国土開発、前田道路、鴻池組、（高度情報WG）
電子文書原本性に関する調査研究	松村組、五洋建設、若築建設

注) 色塗り部 他のWGとのプロジェクト
文書情報標準化内のサブワークの主査

(3) 研究内容

1) 「工事完成図書の電子納品」の利活用ガイドライン

電子納品された工事情報が、どのように利活用できるのかを、『利活用を前提とした現場における電子納品情報の作成方法』から、『本支店の管理部門における利活用を前提とした電子納品情報の提供(組織内への公開)方法』までをガイドラインとしてまとめた。

本ガイドラインの構成

第1章：ガイドライン作成の目的。

第2章：電子納品の流れについて説明し、併せて、電子納品についての調査結果を紹介した。

第3章：電子納品CDに納められている様々な情報が、管理部門でいかに利活用できるのかを事例を挙げ解説した。

第4章：電子納品CDが管理部門へ送られてきたことを想定し、直面する問題点を整理した。

第5章：電子納品情報の利活用に視点を当て、納品情報作成時の留意点について整理した。

第6章：電子納品情報を利活用するために、組織内で公開する時の留意点について整理した。

第7章：電子納品情報の活用事例として、各社内のデータベースとの事例を紹介した。

別編：電子納品で要素技術となるXMLの基礎知識について体系的に事例も紹介してまとめた。

目次について以下に示す。

- 1 . はじめに
- 2 . 電子納品の基礎知識
 - 2 . 1 電子納品とは
 - 2 . 2 電子納品の流れ
 - 2 . 3 受発注者間での取り決め例
 - 2 . 4 電子納品の実際
- 3 . 電子納品の活用
 - 3 . 1 発注図
 - 3 . 2 特記仕様書 DRAWINGS/
 - 3 . 3 工事打合せ簿 MEET/
 - 3 . 4 施工計画書
 - 3 . 5 完成図
 - 3 . 6 工事写真
 - 3 . 7 電子納品の活用 まとめ
- 4 . 電子納品CD(情報)を入手してみたら
 - 4 . 1 電子納品CDを閲覧する ~ 情報の特定
 - 4 . 2 電子納品CDを閲覧する ~ ファイル内容の閲覧
 - 4 . 3 発注図
 - 4 . 4 特記仕様書 DRAWINGS/
 - 4 . 5 工事打合せ簿 MEET/
 - 4 . 6 施工計画書 PLAN
 - 4 . 7 完成図
 - 4 . 8 工事写真
 - 4 . 9 その他
- 5 . 納品情報の作成時の留意事項
 - 5 . 1 工事管理ファイル INDEX__C
 - 5 . 2 MEETフォルダ
 - 5 . 3 PLANフォルダ
 - 5 . 4 PHOTOフォルダ
 - 5 . 5 DRAWINGFフォルダ
- 6 . 納品情報の公開時の留意事項
 - 6 . 1 本支店における納品情報の公開(提供)時の留意事項
 - 6 . 2 電子納品CDからの工事情報の抽出
 - 6 . 3 納品情報の整理
- 7 . 社内DBとの連携
 - 7 . 1 本支店にける社内DBとの連携方法
 - 7 . 2 連携事例

別編 XMLの基礎知識

2) [電子文書原本性に関する調査研究](#)

電子文書原本性 SWG は本年度、電子文書の原本性確保に関する問題に対して以下の調査・研究を行った。

- 電子文書の原本性や真正性を確保するために必要な技術的並びに法律的な課題について調査、分析を行なった。
- 公共事業の建設工事で使われている書類(紙の文書)を例に取り、情報共有、電子納品での現状の書類や署名押印の扱いについて調査する。またこれと並行して紙の書類上にある署名押印が直接担っている機能を調べ、署名押印が背景として持っている属性の分析を行ない、両者を比較することで問題点を明確にすることを試みた。
- 電子データの原本性に関して CALS/EC で議論されている現場における問題点を列記し、現実の動きや課題を利用者の視点から再確認した。

今年度の活動成果についても、昨年度と同様に、「電子署名・認証フォーラム」(2004年2月)で発表を行った。

目次について以下に示す。

1. これまでの経緯
2. 現状分析と問題点の絞り込み
3. 今年度調査研究の概要
4. 電子文書の原本性に関する技術的並びに法律的な課題の分析
 - 4.1 電子文書の原本性の確保
 - 4.2 電子署名に対する業務上・法律上の課題
 - 4.3 官職署名：電子公印の現状
 - 4.4 電子文書の原本性確保のための要件
 - 4.5 見読性・再現性
5. 電子文書の現状と従来の紙文書
 - 5.1 工事請負契約書の内容分析
 - 5.2 情報共有と電子納品における電子文書の運用
 - 5.3 建設業法における電子文書と紙文書の取り扱い
 - 5.4 署名押印の背景からみる紙文書の機能
6. 現状における電子文書の運用上の問題
7. 今後に向けて

巻末資料

1. [「工事完成図書」の電子納品」の利活用ガイドライン](#)
 2. [電子文書原本性に関する調査研究](#)
- 2003年度 電子文書原本性 SWG 活動報告 -